

---

# 叶わない恋

アンゴル・モア

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

叶わない恋

### 【Nコード】

N0466BA

### 【作者名】

アンゴル・モア

### 【あらすじ】

灰原哀はコナンの事が好きだけど、はじめて好きになった人には幼なじみの彼女がいた。

哀は、どうして『彼を好きになったのか』

と思い！？

貴方が好きで（前書き）

哀ちゃんの恋心

貴方が好きで

こんなに近くにいるのに…

どうして貴方は遠いの？

私達は、”友達以上“にはなれない？

………それでもいい。

私は、貴方のことが好き。

『工藤君』…

私の名前は『灰原哀』…

本当の名前は“宮野志保”。

私には本当の名前より、

“灰原哀”の方が似合う気がする…。

だって私は名前の通り『哀しい存在』だから……………。

ーキーンーコンーカンーコーンー……………。

学校のチャイムが教室に鳴り響く。

しばらくすると教室は  
騒がしくなる。

コナン『……………原！……………灰！……………原！……………』

灰原……

コナンの隣の席に居る哀はぼうつとして黒板を見ていた。

コナンの声は哀の耳には全く入っていないかった。

コナン『灰原ー！？』

コナンの声が、教室中に響く。

さっきまで、騒がしかったクラスメートの声が一気に静まり返って、コナンに視線を向けたが  
また何事もなかったかのように喋り始めた

『何よ！？いきなり大きな声を出して！びっくりしたじゃない！』

『ワリィ、ワリィ……何回呼んでも返事しねえから、ついつい……』

『ついついついてねえ？』

コナン『それより、何でぼつつとしてたんだ？』

コナンは、『きになる』  
という顔で哀を見た。

返ってきた返事は  
素っ気なかった。

灰原『別に…ただ考え事をしてただけよ』

『何だよそれ！可愛くねえなあー！』

哀はブスツとした。

（どうせ私は可愛くないわ  
よ！！！）

灰原『悪かったわね！！可愛くなくて！どうせ私は誰かさんの彼女

みたいに可愛くないわよ!』

コナン(こ、怖え!つつか、灰原の奴…)

『ら、蘭は彼女じゃねえーよ／＼ただの幼なじみだっ!』

ズキン…。

ズキン…。

言葉では否定しているけどやっぱり蘭さんの事好きなのね…。

照れ隠ししちゃって…。

ズキン…ズキン…。

やっぱり、蘭さんには敵わないわね…。

『あら?』

私は蘭さんだとは一言も言っていないわよ?』

『なっ／＼／』

『天下の名探偵さんも彼女の事になると冷静さを失うのね？』

コナン『だから！彼女じゃないって言ってるんだろノノ』

だいたい、蘭はなあ……。本当にただの幼なじみで……。だから、別にそうゆう意味で好きって訳じゃなくてだなあ……。』

ズキン……。

本当は、

彼女の事、  
好きな癖に……

照れ隠ししちゃって。  
素直じゃないんだから……。

もしも  
蘭さんが本当にあなたの彼女じゃないなら、私とずっと一緒に居てほしい。

でも、消して叶わない願い……。。

だって、彼が好きなのは、私じゃなくて、『蘭さん』なんだもの…。  
私が適う相手じゃないから…！

コナン『それでなあ？蘭の奴…って聞いてんのか？灰原！？』

ズキン…。

『灰……………原…？』

こんなに胸が苦しくなるなんて…  
苦しくて胸が張り裂けそう…

“ どうして 私は彼を好きになったの？ ”

……………。

好きにならなければ、良かった。そうすれば、苦しまなくて済むのに。

あの人には“彼女”（蘭さん）がいるから…。

天使のような…。

「私」じゃ駄目なの…？

工藤くん…？

私は、

貴方の“一番”にはなれない。

私は“地獄に堕ちた天使”だから…。彼女と私は、“正反対”

彼女は天使で…。

私は…。

…。私は何でしょうね？

少なくとも、私は天使じゃない。

私は…。

『翼の汚れた天使』

でも、工藤君の前では

“心が洗われる気”がするの。

…工藤君。  
あなたの前では　　。

貴方といえる時は、  
私の中に“光”が入って来るの…。

黒かった翼が、  
少しずつ  
白くなっていく様な。

でも、  
貴方に『天使』がいる。

“毛利蘭”という“天使”が…。

だから、私は“天使”に  
なれない。

私がもし、工藤君の幼なじみで、  
蘭さんが幼なじみじゃなかったら、

私達は  
付き合っていた？  
…いや。

きつと、

たとえ蘭さんと工藤君が幼なじみじゃなくても、二人は付き合っていたでしょうね…。

最初から、私に勝ち目なんて、ないのよ…。

それが『運命』なのだから…。

ズキ…

それが、

蘭さんと私の立場が、逆だったとしても…。

私に勝ち目はない。

最初から…分かってたのにね…。  
けて“叶わない恋”だって…。

（…本当に馬鹿ね…  
私…。）

ズキン…。

ズキン…。

そつだよね？バカだよね…私…。  
（お姉ちゃん…）

**貴方が好きで（後書き）**

**感想**

**待ってます。**

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0466ba/>

---

叶わない恋

2012年1月3日04時45分発行